

風力発電事業の円滑な導入と環境保全の両立を目指します。

1. 事業目的

- ① 地域の自然的条件・社会的条件を評価し、風力発電の導入を促進し得るエリアや、環境保全を優先することが考えられるエリア等の設定などを行うゾーニングマップを作成する。
- ② ゾーニングの実効性を確保し、環境影響評価制度等との連携を具体化するための仕組みを見据えた検討及びその実証を行う実証事業を行う。

2. 事業内容

低炭素社会の構築には、風力発電事業の円滑な導入と環境保全の両立が不可欠である。このため、委託事業により、地方公共団体主導において風力発電に係るゾーニング実証事業を実施し、事業成果等を踏まえてゾーニングの実効性の確保について検討する。

①実証事業におけるゾーニング実践

平成30年度に公募により採択した7地域において、ゾーニング結果を環境影響評価手続等の各種制度に活用するための実証事業を実施する。

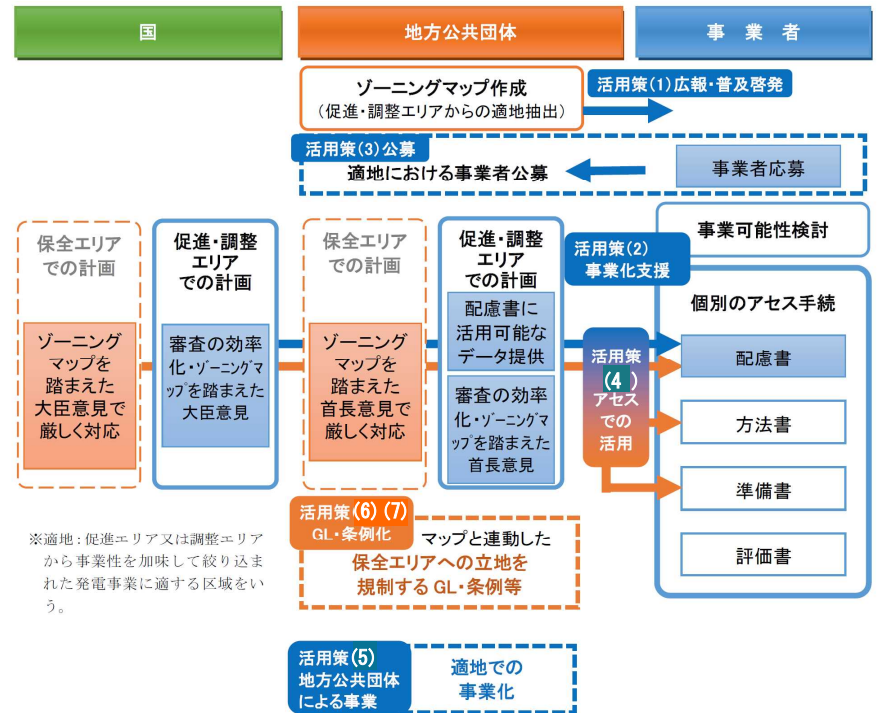
②ゾーニング成果の各種制度への活用による実効性の確保に係る検討

ゾーニングモデル事業（～平成30年度）の成果及び実証事業の状況を踏まえ、環境影響評価制度におけるゾーニングの位置づけを含めたゾーニングの実効性の確保に係る検討を行う。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業
- 委託事業 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 平成30年度～令和2年度

4. 事業イメージ



ゾーニングマップ活用のイメージ